



## 特集

# 2010年度事業紹介

.....2

### ■ KIF Report かながわ国際交流財団が行った様々な事業の報告

21世紀かながわ円卓会議、小松義夫「地球のくらし写真展」、第4回21世紀ミュージアム・サミット、地球市民ひろば・フォーラム … 8

### ■ Event Schedule これから開催される催しのお知らせ

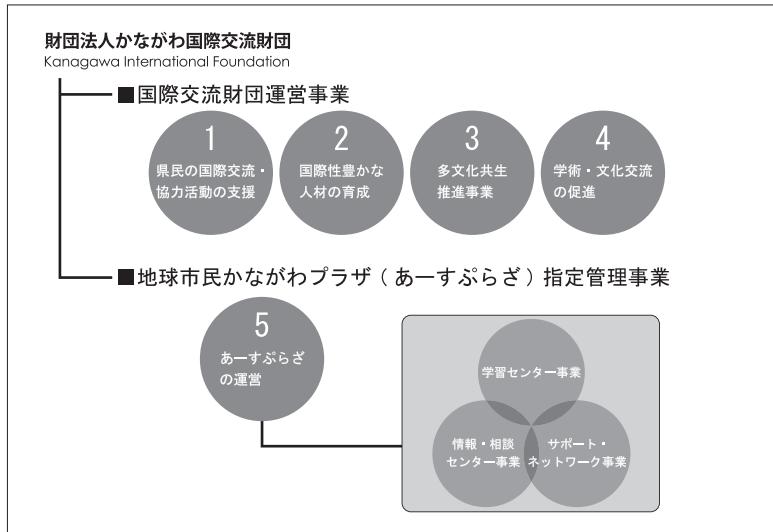
市民団体企画支援事業 シネマアース自主映画会「子供の情景」、韓国舞踊のワークショップ、湘南国際村アカデミア、国連大学グローバル・セミナー … 9

「かながわ民際協力基金」2010年度春期募集、2009年度秋期決定事業 ..... 10

MIXED RECOMMEND 映像ライブラリー&amp;情報フォーラム担当スタッフのおすすめ、KIF SPECIAL RECOMMEND ..... 11

KIF SPECIAL INFORMATION ..... 12

# 特集 2010年度事業紹介



## ●事業方針

当財団では、現在、①県民の国際交流・協力活動の支援、②国際性豊かな人材の育成、③多文化共生の地域社会づくり、④学術・文化交流の促進の4つを事業の基本方針としています。

これまで外国籍県民の方々への支援の分野で様々な事業を展開してきましたが、今後、多文化共生分野で活動するN G O

等と自治体の「協働」をさらに促進するため、特に重視すべきは、中間支援機能として当財団が果たすべき役割・使命を一層強化することと考えています。そして、自治体・N G O等では、ともに事業化が困難な県民ニーズの高い新しい政策課題について、実践的な調査研究を通じてその解決の道筋を探り、新たな仕組み

を創出する「事業開発」機能も、一層重要なになっていくことと見込まれます。

2010年度は、「多文化ソーシャルワーク検討事業」に着手し、多文化共生社会を担う専門家の養成や多文化ソーシャルワークのしくみのあり方の総合的な検討に向けた取組みを進めます。

## ●重点事業

### ■国際交流財団運営事業

#### ○県民の国際交流・協力活動の支援

国際交流・協力に係る県民の皆様の多様な情報ニーズに応えるため、ホームページのデザイン等を見直し、情報面でのサポートを充実させます。外国籍県民の方々への情報提供については、新たにスペイン語版のホームページを作成するとともに、携帯電話による外国籍県民向け生活情報メール「Info Kanagawa」を多言語で配信します。また、民際協力基金では、「N G O等への助成事業」と「N G Oとの協働事業」の2つの柱で運営を行います。協働事業は、昨年度に着手した「外国につながりを持つ子どもの教育に関する調査」の結果をまとめ、報告書を作成し、今後の外国人児童生徒へのサポート体制を充実させます。

#### ○国際性豊かな人材の育成

年少者から高齢者まで全ての年齢層をカバーした人材育成を行います。高校生向けの人材育成事業では、幅広い観点から国際教育をとらえ、世界の現状を知り(国際理解)、国際社会で生きる力(多・異文化理解マインド、思考力、実践力、社会・自然科学の素養)を備えた人材を育成します。また、持続可能な地域社会づくりに向けて活躍する人材を育成するために、地球市民学習推進団体ネットワーク事業を実施し、環境教育、多文化共生教育など、異なる分野で活動する団体のネットワーク化を進めます。

#### ○多文化共生の地域社会づくり

神奈川における多文化ソーシャルワークのあり方を検討するため、多文化ソーシャルワークの現状と課題を把握するた

めの調査を実施します。また、外国人児童生徒の教育に関わる分野では、新たに県内の教育関係機関と連携・協働し、国際教室担当教員、日本語指導協力者、学校通訳等の実践者を対象とした研修プログラムを開発するため、ニーズ調査を実施します。

#### ○学術・文化交流の促進

学術・文化交流を通じて地球規模の課題の解決に向けた地域から国内外への発信を行うため、多分野にわたる研究者、実務家、ジャーナリスト、市民を招き、円卓会議やシンポジウムを開催し、その成果を広く発信します。

## ■地球市民かながわプラザ指定管理事業

### ○学習センター事業

「地球市民学習」の拠点として、展示室を活用したイベントや写真展など多彩なプログラムを開催して、地球市民意識の高揚を図ります。

神奈川県との友好交流先であるフランス、オードセーヌ県との友好交流事業として、100年前の世界各地をカラーの映像フィルムで収集したアルベル・カーンのコレクションを展示します。また、校外学習等のプラザ利用を継続的に進めると同時に、休日には青少年関係団体に

常設展示室を利用していただくなど、団体活動のサポートを行います。

### ○情報・相談センター事業

映像ライブラリーの「国際理解」「国際協力」「地球規模の課題」等をテーマにした図書資料、映像資料等をインターネットで検索するシステムを公開し、利用者にとってより活用しやすい仕組みを確立します。

ある外国人児童生徒支援関連の教材や多言語資料を活かしながら、外国籍の生徒や保護者の相談に多言語で対応とともに、学校や地域のボランティアからの相談にも対応します。また、県および市町村教育委員会、NGOを構成メンバーとする「外国人教育相談機関連絡会」を、県央地域とプラザの2か所で開催し、関係団体・機関との連携協力体制をさらに強固なものにしていきます。

### ○サポート・ネットワーク事業

あーすぷらざ外国人教育相談事業の一層の充実を目指して、情報フォーラムに

# 1 県民の国際交流・協力活動の支援

県民の国際交流・協力活動を情報、ノウハウ、資金面から支援する取組みを行います。

### (1) かながわ民際協力基金

国際協力や多文化共生などの活動を先駆的、先導的に取り組むNGO等に資金を助成します。助成申請の受付は、春（4～5月）と秋（10～11月）の2回行います。また、地域の国際化に関わるプロジェクトの企画を公募し、財団と協働して実施します。

### (2) 情報提供・相談、情報誌発行

ホームページでの情報発信、国際交流・協力などについて情報の収集、提供、相談を行います。また、情報誌『KIF NEWS』（隔月）を発行し、多文化共生などの新しい情報や財団事業をお伝えします。

### (3) 会員交流事業

財団会員の拡大等を目指し、英会話講

師との交流会や映画会などのイベントを開催します。

### (4) 国際学生会館の運営

県内私費留学生等を支援するため、国際学生会館・白根、同淵野辺の運営を行い、安全・安価な生活基盤を提供します。また、地域の国際理解・国際協力への理解を深めるため、留学生等と地域住民との交流事業を実施します。



かながわ民際協力基金助成団体の活動の様子



会員交流会



国際学生会館

## 2 國際性豊かな人材の育成

次代を担う青少年を中心に、世界で活躍できる国際人材の育成のための取組みを行います。

### ●国際人材育成事業

#### (1) 英会話講座

神奈川県の友好提携先であるアメリカ・メリーランド州から招聘した講師を中心には、4～9月に春期講座を開催します。秋期講座（10～3月）はネイティブ講師により、各国の文化紹介を交えた、国際理解を深めるための英会話講座を開催します。

#### (2) 地球市民学習支援

財団が長年にわたり蓄積してきた地球市民学習に関する内外の教材・資料を広く紹介し、貸出しを行います。また、学校等での学習プログラムの企画協力、講師紹介、講師派遣などを行います。

#### (3) 国際人材育成指導者養成講座

地球市民学習や多文化共生の分野で指導的立場を担える人材の育成を目指して、必要な専門的な情報や具体的なノウハウを提供するセミナーを、県内各地で開催します。

#### (4) 国連大学グローバルセミナー

国連大学と協力大学との連携により、

学部3、4年生と大学院生を主な対象として、世界情勢に即したテーマについて認識と理解を深めることを目的とした4泊5日のセミナーを実施し、将来、国際機関、国際NGO、国際学術研究機関等国内外で活躍できる国際人材を育成します（日英2ヶ国語の使用）。

#### (5) 湘南国際村インカレ国際セミナー

首都圏の大学と連携し、学部1、2年生を主な対象として、「東アジア共同体」に関するテーマについて、学際的、多角的な視点から議論を進める2泊3日のセミナーを実施し、東アジア共同体の問題意識を高め、アジアと日本の関係に理解をもつ国際人材を育成します。

#### (6) 湘南国際村高校生国際教育支援(出前事業)

県内高校を対象に社会・人文・自然科学の各分野の枠にとらわれず幅広い観点から国際社会で生きる力を備えた人材を育成する教育プログラムを提供し、国際教育を支援します。財団が蓄積した大学や研究機関とのネットワークとセミナー実施のノウハウを活用します。

#### (7) 湘南国際村青少年国際セミナー(K-PIT)

県内の高校生世代を対象に、参加型学習（ワークショップ）の手法やグループ・ディスカッションなども取り入れて、世界の現状を踏まえた国際社会で生きる力を備えた実践力を持つ人材を育成するための宿泊型セミナーを実施します。

#### (8) 地域国際人材育成支援

県内高校を対象として、学校のカリキュラムに組み込む年間を通じた継続的な国際理解プログラムを提供します。講演会、ワークショップ、宿泊型セミナーなど多様な学びの形式と豊富な講師陣をそろえ、地域における国際的な人材の育成を支援します。

#### (9) 若手社会人リーダー養成セミナー

現代社会が直面する諸問題を人間性の原点をふりかえりつつ、あるべき社会像を思索し、学び合う場を若手社会人に提供することを通じて、国際的な教養の基礎となる哲学、倫理などを身につけ、「眞の国際人」として広く社会に貢献する人材を養成します。



湘南国際村高校生国際教育支援（出前授業）



湘南国際村青少年国際セミナー（K-PIT）



若手社会人リーダー養成セミナー

**(10) かながわ非営利組織実務家養成セミナー**

神奈川県内の民間非営利組織の実務家等に対して、公共性に関わる理論的な知見を身につけ、より専門性を備えた市民社会の担い手を養成します。

**●国連人材育成事業****(1) 国連ESD(持続可能な開発のための教育)ネットワーク**

「国連持続可能な開発のための教育の10年」に合わせ、ESDに関する分野の市民活動関係者や教育関係者、県民を対象に、ESDの意義に対する理解を深め、活動・連携を促すための連続学習会などを開催します。

**(2) 国連関連国際人材育成**

国連を舞台にした意思決定のメカニズムについて学んでいくセミナーを実施します。地球規模で解決していかなくてはならない諸課題を、国連でどのように扱い、議論や交渉がなされているのか。具体的なテーマを取り上げて、そのプロセスを検証していきます。

### 3 多文化共生の地域社会づくり

地球市民意識の高揚や多文化共生社会の実現に向けた取組みを行います。

**●多文化理解支援事業****(1) あーすフェスタかながわ**

9月11、12日（土、日）に、「みんなで育てる多文化共生」をテーマに、シンポジウムや民族芸能ステージ、ワールドバザールなどを実施する総合イベントを開催します。

**(2) 世界の文化セミナー**

世界の文化に楽しくふれるきっかけとして、中国の太極拳、南米のケーナ、英語でヨガなどの文化講座を行います。

**●多文化共生社会基盤整備事業****(1) 多文化子ども支援ネットワーク事業**

外国籍児童生徒の教育の課題解決、サポート体制の拡充を図るために、NGOと学校、県関連機関等とネットワークを築き、問題解決に向けた具体的な議論の場を持ち、情報を共有し、具体案を検討します。

**(2) 定住外国人の子どもの就学支援事業(文科省委託事業)**

経済上の問題から外国人学校での就学が困難となった児童・生徒の公立学校への円滑な転入を確保するとともに、子どもたちの居場所づくり等を推進します。

**(3) 外国籍児童生徒総合人材育成事業**

県内の教育関係機関と連携・協働し外国につながる子どもたちの支援、体制の充実を目的に国際教室担当教員、日本語指導協力者、学校通訳等の実践者を対象とした研修の機会を創出するためニーズ把握の調査等を行い、研修パッケージを作成します。

**(4) 多文化ソーシャルワーク検討事業(クレア助成事業)**

将来的な多文化ソーシャルワーカーの導入に向けて、神奈川県における多文化ソーシャルワークの現状と課題を把握し、全県的な配置も視野に入れた仕組み・モデル作りや養成のあり方の検討を行います。



かながわ非営利組織実務家養成セミナー



あーすフェスタかながわ



国連大学グローバルセミナー



多文化子ども支援ネットワーク・フォーラム

## 4 学術・文化交流の促進

学術・文化交流を通じ、地球規模の課題の解決に向けた地域からの提案を、県民はじめ国内外に発信する取組みを行います。

### ●国際学術・文化交流

#### (1) 21世紀かながわ円卓会議

2009年度開催の「21世紀かながわ円卓会議」の成果と総括を踏まえ、自治体レベルで目指すべき地域社会への具体的なステップについて、実例を織り交ぜながら討議を行います。

#### (2) ミュージアム・サミット

2011年度開催予定の第5回ミュージアム・サミットに向けて企画委員会を開催する他、過去のミュージアム・サミットの成果をインターネット等を通じて発信します。

#### (3) 企画研究・出版

財団が設定するテーマにもとづき研究・調査活動等を行います。また、学術・文化交流事業の成果を広く周知するため出版します。

#### (2) 湘南国際村アカデミア

総合研究大学院大学、地球環境戦略研究機関等との共催により講演会やセミナーを開催し、湘南国際村の知的資源や研究活動成果を地域へ還元するとともに、県民の生涯学習活動を支援します。

### ●地域学術・文化交流

#### (1) 湘南国際村フォーラム

総合研究大学院大学、地球環境戦略研究機関、神奈川県立保健福祉大学等、湘南国際村に集積する知的機関の協力を得ながら複数の研究者が集い学術的なテーマについて多角的に討論します。

#### (3) 三浦半島エコミュージアム

持続可能な地域づくり・まちづくりを進めていくため、県横須賀三浦地域総合センターと協働して、三浦半島のエコミュージアム活動団体のネットワーク形成を促進します。

## 5 あーすぷらざの運営

あーすぷらざ（地球市民かながわプラザ）は、子どもの豊かな感性の育成、地球市民意識の醸成、国際活動の支援の3つの目的のもと、1998年に開館した施設です。財団は、あーすぷらざの指定管理者として、施設の運営を通じた様々な事業を行っています。

### ●常設展示室

5階には、子どもの国際理解展示室、国際平和展示室、子どもファンタジー展示室の3つの展示室と上映会等を行う映像ホールがあります。

#### (1) ボランティアスタッフ制度の運営、校外学習の受入

常設展示室の展示案内や地球市民学習プログラムの実施を担うボランティアシステムの運営、学校団体への学習プログラムの提供を行います。

#### (2) 館内ガイドツアー(リトル・アドベンチャー)

常設展示室などの施設を案内し、展示の紹介につながるアクティビティを実施

します。

#### (3) ワールドカルチャー・ディ

毎月、世界の特定の地域の暮らしや文化への理解を深めるイベントを開催します。おしゃべりワールドや民族楽器のワークショップなどを行います。

#### (4) あーすぷらざ探検隊

6月から12月まで、子どもたちが一緒にあーすぷらざを探検し、毎回の体験を通じて発見したこと、感じたことをまとめ、最後に発表会を行います。

#### (5) あーすシアター、こども映画会

毎月、映像ホールで国際交流や国際理解、多文化共生などについての映画を上映します。春休みと夏休み期間には子どもを対象とした映画会を開催します。

### ●情報フォーラム・映像ライブラリー

2階には、国際交流・協力、国際理解、多文化共生などに関する情報を入手できる情報フォーラムと映像ライブラリーがあります。

#### (1) 情報フォーラム運営

地球市民学習教材や日本語学習の資料、国際交流・協力活動などに関する図書資料、雑誌、ニュースレター等を収集し、



21世紀かながわ円卓会議



ミュージアム・サミット



映像ライブラリー

情報提供を行います。

## (2) 多言語生活情報センター

自治体等が発行する多言語生活情報を外国籍県民に確実に届けるため、自治体等から多言語資料を収集・整理し、関係機関等へ情報発信します。

## (3) NGO情報アーカイブセンター

消失しやすいNGO発行資料を保存し、新たなNGO活動を生み出すサポートをするため、県内外のNGOが発行するニュースレターやチラシを収集・保存し、データベースを構築します。

## (4) あーすぶらざ外国人教育相談

外国人の教育にかかる相談窓口を開設しています。中国語、スペイン語、タガログ語によるサポートもあります。

## (5) 映像ライブラリー運営

「国際協力」「環境」「平和」等のテーマに関する図書の収集・貸出、及び映像資料の視聴サービスを行います。

## ●企画展示室等の施設

3階企画展示室等において、地球市民学習を深めるための事業を行っています。

### (1) 企画展

①『『ライフ』報道写真家が捉えた戦争と終戦』 6～7月

戦争の記憶を次世代に継承するため、ロバート・キャパをはじめとして4人の報道写真家のヴィンテージ・プリントを含む157点の写真を展示します。

### ② 「メコン 源流を求めて」(仮題)

10～11月

インドシナ5カ国（カンボジア・ラオス・ミャンマー・タイ・ベトナム）への関心を一層高めるため、インドシナ半島を縦断して、南シナ海に注ぐメコン川の河口から源流まで通り、様々な国や民族がメコン川の恵みとともに生きている姿を写真で展示します。

### ③ 「アルベール・カーン展」(仮題)

2～3月

神奈川県の友好交流先であるフランス、オードセーヌ県との友好親善事業として、100年前の世界各地の民族や風土をカラー写真で記録、収集したアルベール・カーンのコレクションから約100点を展示します。

### (2) 地球市民ひろば

地球規模の課題についてのセミナーを年5回、「地球共生社会とは」をテーマにフォーラムを開催します。

### (3) 多文化共生人材育成事業

県内で多文化共生の地域社会づくりに向けた活動ができる人材を育成するセミナーを開催します。

### (4) カナガワビエンナーレ国際児童画展

絵画を通じて、神奈川の子どもたちに世界を、世界の子どもたちに神奈川を紹介する絵画展を2年に1回開催しています。第16回展の開催に向けて、作品の募集、審査、展示準備を行います。また、過去の応募作品を、県内各地域の学校などで行う国際理解教育のための教材として貸し出すほか、校外学習等で活用します。

### (5) 市民団体(NGO等)への活動サポート

市民団体から企画を公募し、会場提供・広報協力などの支援を行います。また、市民団体への情報提供や、相談対応、活動場所の提供を行います。

## ●県内地域への展開（アウトリーチ）

あーすぶらざの資源やネットワークを活かし、地域で事業を展開します。

### (1) 世界の子どもの暮らしボックス

世界各地の子ども達の暮らしが見える国際理解のためのボックス教材を開発し、小中学校等への貸し出しを行います。

### (2) あーすキャラバン隊

県内の小中学校等に出向き、国際理解を深めるワークショップなどを提供します。

### (3) 多文化かながわスタディツアー

県内の外国人の生活の場や、外国人支援に関わるNGOの活動現場を訪ねるスタディ・ツアを行います。

## ●広報・情報発信

### (1) あーすぶらざ壁新聞（年3回発行）

あーすぶらざの施設や教材等の学習資源を分かりやすく紹介するポスター型の広報誌を県内の小・中・高校や関係機関へ配布します。

### (2) かながわ地球市民メールマガジン（月2回発行）

あーすぶらざの事業や県内のNGO等が実施するイベント情報、ボランティア募集情報などの最新ニュースを配信します。



ワールドカルチャー・デイ



校外学習の受入



企画展「小松義夫 地球のくらし写真展」(昨年度開催)

## ■ 21世紀かながわ円卓会議

築かれる都市と地域の未来～人の絆・文化の絆を紡ぐ～

開催日 3月19日・20日

場 所 湘南国際村センター

神奈川県との共催で、「新しい都市と地域」を考えるフォーラムを開催しました。神野直彦氏（関西学院大学）をモデレーターに、松沢知事や三重県野呂知事、三鷹市清原市長をはじめとする県や市町の自治体首長、研究者、NPO、ジャーナリストなど、多彩な講師、討議者による講演と討議が行われました。現代は、グローバリゼーションの潮流の中で、生活様式の画一化が促進され、地域の独自性・多様性が損なわれつつあり、コミュニティの崩壊という課題にも直面しています。そこで、人と人との絆、そしてそれぞれの地域が築いてきた生活様式としての“文化”と人との絆をいかに再生・創出していくのかについて、さまざまな観点から議論が展開されました。



## ■ 100人で語る美術館の未来

第4回 21世紀ミュージアム・サミット

開催日 2月27日・28日

場 所 湘南国際村センター

地域の文化の力を高めていくための重要な拠点としての美術館が、社会の変化に対して何ができるのか。

4回目の「21世紀ミュージアム・サミット」（共催：日本経済新聞社・神奈川県）では、「100人で語る美術館の未来」をテーマに、哲学者の鷲田清一さん、認知心理学者の佐伯伸さんによる基調講演のほか、神奈川県立近代美術館、フランス・ルーブル美術館、アメリカ・イザベラ・スチュアート・ガードナー美術館の教育普及担当者による事例報告が行われました。今回大きな特徴となったのは、講師・パネリストだけでなく参加者全てが議論に参加したこと。ワールド・カフェと呼ばれる少人数のグループで相手を変え何度も討論し対話を深めていく手法が用いられ、定員を大きく超える170名に及ぶさまざまな参加者が、近しい関わりの中で、美術館を支える様々な立場から活発に意見を交わし合いました。



## ■ 小松義夫 地球のくらし写真展

開催日 1月30日～3月28日

場 所 あーすぷらざ

約40年間にわたり世界中に足を運び、そこに住む人々の日常生活を撮り続けてきた写真家、小松義夫さんの作品約100点を展示した写真展を開催しました。5,614人の来場があり、「いろいろな国の文化、生活、食べ物等々良くわかり、景色や人々の表情等とてもよく撮れていて素晴らしかった」と、文化の多様性を身近に感じていただける機会となりました。期間中は関連イベントとして、モンゴルの移動式住居「ゲル」の実物を2階アトリウムに建て、校外学習で訪れた子どもたちが実際にゲルの中に入り、構造や生活様式の違いを肌で感じていました。また、世界の家のペーパークラフトを使ったワークショップや世界遺産の上映会など、大人から子どもまで幅広い年齢層に楽しんでいただきました。



## ■ 地球市民ひろば・フォーラム

開催日 2月6日～3月7日

場 所 あーすぷらざ

1月12日に発生したハイチ大地震は、首都ポートオブランスをはじめ、各地に壊滅的な被害をもたらしました。今回のフォーラムでは、その被害状況、緊急救援の状況などを伝えると共に、ハイチ等の社会情勢、背景なども多角的に伝えていくことを主眼に実施しました。



具体的には、かながわのNGOや地域国際化協会などから構成されるかながわ復興支援ネットワークとの協力による、ハイチを舞台とした映画会とNGO活動報告会、元臨時大使による歴史的背景を解説した講演会、2月に現地取材したフォトジャーナリストの報告会、写真展など、これまで同国について馴染みが薄い方も深く関わってきた方も参加できる幅広い内容となりました。

# Event Schedule

これから開催される催しのお知らせです。  
イベント スケジュール

## ■市民団体企画支援事業

### シネマアース自主映画会「子供の情景」

開催日 5月14日(金) ①14:00~16:00

②18:30~20:30

\*各回開場30分前

場 所 あーすぶらざ 2階プラザホール

2007年制作のイラン・フランス合作。バーミヤンの仏像が崩壊したアフガニスタン。6歳の女の子バクタイは、隣人の男の子アッバスの影響で、学校に行きたくなった。バクタイは、苦労してノートを買うが、道すがら「戦争ごっこ」をする少年達に囲まれる。

子どもたちは大人たちの構築した世界に翻弄される…。  
講 演:江藤セデカ (イーグル・アフガン復興協会)

対 象:一般

定 員:358名

参加費:一般750円、高校・中学・小学生300円

申込み:事前申込不要

問合せ:地球市民学習課 (担当:おぎむら)

TEL: 045-896-2121 (祝日除く月曜休み)

FAX: 045-896-2299

E-mail: gakushu@k-i-a.or.jp

## ■韓国舞踊のワークショップ

### 「みんなで踊ってハナ(ハナ)(ひとつ)になろう!」

開催日 5月29日(土) 14:00~15:30

場 所 あーすぶらざ 1階ワークショップルーム

韓国の伝統舞踊を体験して、「ハナ」を感じてみませんか?

韓国の楽器、チャンゴの音に合わせて踊ります。

初めてでも大丈夫!男性の方大歓迎!

対 象:小学生以上であればどなたでも

定 員:20名

参加費:無料

持ち物:動きやすい服装(床に座ります)、運動できる靴(スリッパ不可)

講 師:金春江(キンチュンガン)さん(第27回大韓民国舞踊競演大会大賞受賞)

申込み:事前申込み制

問合せ:地球市民学習課

TEL: 045-896-2899 (祝日除く月曜休み)

FAX: 045-896-2299

E-mail: gakushu@k-i-a.or.jp

(件名は「韓国舞踊ワークショップ申込」でお願いします。)



## ■湘南国際村アカデミア

### 「素粒子の対称性とその破れ」

開催日 6月26日(土) 14:00~16:00

場 所 湘南国際村センター第2研修室

高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所教授、山内正則氏より素粒子物理学やノーベル賞につながる発見を裏付けたBelle測定器に関する講演をいただきます。気楽に質問が出来る少人数・カフェスタイルで行います。総合研究大学院大学との共催。

定 員:35名(先着順)

参加費:一般600円、高校生以下無料(茶菓つき)

申込み:事前申込制(事業名、氏名、住所、電話番号・FAX番号、E-mailアドレス、「この事業についてどこで知ったか」を明記し、FAXまたはE-mailにてお申込みください。)

問合せ:湘南国際村学術研究センター(担当:こまつ)

TEL: 046-855-1822(土日祝休み)

FAX: 046-858-1210

E-mail: academia@kif.ac

※「湘南国際村アカデミア」は、湘南国際村にある学術研究機関の研究分野の研究内容を、わかりやすくお伝えする生涯学習のための催しです。

## ■国連大学グローバル・セミナー

### 第26回湘南セッション「持続可能な地球社会をめざして」

開催日 9月6日(月)~9月10日(金) 4泊5日

場 所 湘南国際村センター

国連大学との共催で、首都圏10大学とともに開催する5日間連続の宿泊型セミナーです。世界情勢に即したテーマについて、国内外の学識経験者・専門家による講義やグループ討議を行います。

対 象:日本の大学に在籍する学部生、大学院生、留学生。

専攻分野は問いません。テーマに関心のある若い社会人(テーマに関する専門家や大学などの講師等を除く)も歓迎。使用言語は日本語と英語(通訳なし)。

定 員:100名

参加費:4万円(留学生は選考により3万円免除します)

申込み:事前申込制(所定の申込用紙を下記URLからダウンロードし、必要事項のほか小論文を書いて、下記へ送付してください。【5月28日(金)必着】)

問合せ:〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70

国際連合大学グローバル・セミナー

湘南セッション事務局

TEL: 03-5467-1212 FAX: 03-3499-2828

E-mail: shonan@unu.edu

URL: <http://isp.unu.edu/capacity/gs/>

## Mail Magazine

かながわ国際交流財団が行うすべての催しの情報を入手したい方は、メールマガジンの読者登録をお勧めします。  
登録はこちらのURLにアクセス▶<http://www.k-i-a.or.jp/mail-maga>

# かながわ民際協力基金 2010年度春期 助成申請・協働事業提案募集

「かながわ民際協力基金」は、NGO/ボランティア団体等による国際協力・多文化共生などの分野での活動、国境や文化の違いを超えて、人と人とのつながりに根ざした協力活動を応援します！

## ■ 助成申請／協働事業提案募集案内

### 【助成事業】

- 下記の分野で、主に神奈川県内のNGO／ボランティア団体等により行われる事業の助成申請
  - ・海外の開発途上地域での福祉・生活環境の向上、環境保全、教育、人権保護など
  - ・県内の外国人住民と共に生きる地域社会の実現
  - ・国際協力や外国人住民支援などの担い手を育てる
  - ・スタッフ研修、プロジェクトの事前調査、国際会議への出席など、NGOの組織の自立や活動の充実を図るために事業
  - ・大規模な災害などに対して復興支援を含む緊急支援のための事業

### ○事業実施期間：

2010年10月1日以降、1年内に開始される事業

### ○助成上限：

50万円（団体活動充実事業）～300万円（海外協力、国内協力、担い手育成）

負担の上限は100万円です。

### 【協働事業】

- 下記の分野で、かながわ国際交流財団とNGO等が、それぞれのノウハウを持ち寄り、企画段階から協力して行う事業の提案
  - ・外国人住民支援のための活動
  - ・国際協力・外国人住民支援のための担い手を育てる活動

### ○事業実施期間：

2010年10月1日以降、1年内に開始される事業

### 【申請受付期間】

2010年4月1日(木)～5月31日(月)  
 \*申請のご相談は随時受け付けています。  
 \*「かながわ民際協力基金」について、当財団のホームページで詳しくご説明しています。各種フォーマットもそちらからダウンロードできます。  
<http://www.k-i-a.or.jp/kokusai/ngo/kikin/index.html>

### 【問合せ】

多文化共生・協働推進課  
 (担当：すがぬま)  
 TEL：045-896-2896  
 (祝日除く月曜休み)  
 Fax：045-896-2945  
 E-mail：[tabunka@k-i-a.or.jp](mailto:tabunka@k-i-a.or.jp)

## 2009年度秋期 助成事業決定

事業名	第95号ブラジル東北部の貧しい漁村における、地域住民への教育支援プロジェクト
団体名	光の子どもたちの会
事業分野	海外協力
助成予定額	1,900,000円
事業概要	ブラジル国の貧しい漁村地域において、大きな課題を抱えている青少年を中心とした地域住民を対象として、地域住民自らがよりよい教育の場を提供し、生活の向上を目指すことを目的として、教育支援活動を行う。



写真提供：光の子どもたちの会

## MIXED RECOMMEND

# 映像ライブラリー&情報フォーラム担当スタッフのおすすめ

あーすぷらざ 2 階、映像ライブラリーと情報フォーラムでは、国際交流・国際理解・地球市民学習などに関する情報を提供しています。今回は情報フォーラム内の「地球市民学習コーナー」の中から、コーナー担当スタッフが選んだお勧め資料をご紹介します。学校の総合学習の時間の授業作成に参考になる資料です。どうぞご利用ください。



『市民学習実践ハンドブック教室と世界をつなぐ参加型学習30』

■制作：市民学習実践ハンドブック編集委員会

■発行：（特活）開発教育協会

学校やイベントで実際に行われたワークショップの内容をまとめた実践事例集です。「多文化共生・多様性」「平和・戦争・メディア」「世界とのつながり」「市民と参加」の4つのテーマで、30種類の事例が紹介されています。ワークショップを行う際のテーマ選びや、展開方法を考える際に参考になります。



「シュキちゃんのカレー」

■制作・発行：（特活）シャプラニール

パングラデシュに住むシュキちゃんが、カレーを作るため、お兄さんと一緒に街の市場に買い物に行く様子や、お母さんとカレーを作る様子などを、小学生にも分かりやすく紹介しています。パングラデシュと日本の生活の違いがよくわかる作品です。



「わたしと地球がつながる食農共育」

■著者：近藤 恵津子

■発行：コモンズ

小・中学校の総合学習の時間で実施している食と農をテーマにした授業案と教材を紹介。子どもの調べる力がつき、実践を通して食べ方と地球環境・農業とのつながりがよくわかります。普段何気なく口にする食べ物から世界を広げる取り組みが紹介された、食と世界のつながりを楽しく学べる作品です。

## KIF SPECIAL RECOMMEND

# 地域再生の方策を描くためのヒント 中公叢書『地域再生の新戦略』諸富徹



■定価 2,310円（税込）／頁数 304頁／  
体裁 四六判・ソフトカバー

地域社会の荒廃が進んでいる。拡大する地域格差、グローバル化によりさらに進む産業空洞化、拡大する自治体の財政赤字……。その一方で、まがりなりにも地方分権が進み、これまで以上に各地域の自立が迫られている。低成長時代の新たな発展戦略をどのように描き、限られた資源を何に投資すべきなのか。

各地の事例を紹介しながら、地域再生の方策を具体的に描くためのヒントを示す。

「21世紀かながわ円卓会議」第2期（2005～2007年）の成果をもとに、「グローバリゼーションと地域再生」の関係を考える。

■購入についての問合せ 中央公論新社販売部

〒104-8320 東京都中央区京橋2-8-7 TEL：03-3563-1431

## ■目次の紹介

- 1 グローバル化と拡大する地域格差
  - ・グローバル化とは何か
  - ・地域格差は拡大したか？
  - ・地域政策の再構築
- 2 持続可能な地域発展に向けた財政構造改革
  - ・「政策実験」としての長野県財政構造改革
  - ・EU 結束基金と地域の持続可能な発展
- 3 持続可能な発展へ向けた地域戦略
  - ・中山間地域の持続可能な発展——愛媛県内子町
  - ・商業地域の再生と歴史性・文化性——長浜市・黒壁
  - ・大都市地域の持続可能な発展と「創造性」——横浜市
- 4 グローバル化時代の新しい地域発展モデル
  - ・地域発展の共通要素
  - ・社会関係資本への投資
  - ・グローバル化時代における発展概念再考

## KIF SPECIAL INFORMATION

# あーすぶらざの貸出施設が増えました！

4月より、あーすぶらざの貸出施設が増えました。  
講演会や展示会、ダンス等幅広い用途でご利用いただけます。



### スタジオ（2F）

楽器練習や、ミーティングなどにご利用いただけます。（定員20名）



### 展示コーナー（2F）

写真・絵画・工芸展示などにご利用いただけます。



### 多目的室（1F）

音楽、演劇、講座などにご利用いただけます。（定員55名）



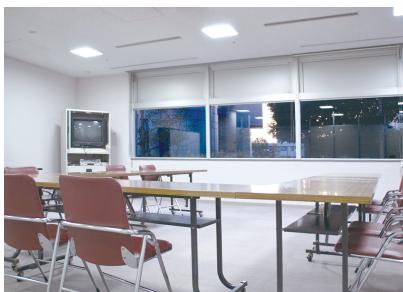
### ワークショッフルーム（1F）

創作活動、会議、講座などにご利用いただけます。（定員36名）



### 研修室A（1F）

各種会議、講座、研究会などにご利用いただけます。（定員36名）



### 研修室B（1F）

各種会議、講座、研究会などにご利用いただけます。（定員27名）

使用の用途にあった、さまざまな備品もご利用になります。  
ご利用いただける備品や料金などは、ホームページをご覧いただくか、  
下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。  
URL : [https://yoyaku.asp-e-kanagawa.lg.jp/karcof/reserve/gin\\_menu](https://yoyaku.asp-e-kanagawa.lg.jp/karcof/reserve/gin_menu)  
問合せ：地球市民学習課 TEL : 045-896-2121

## かながわ国際交流財団ニュースレター

2010年5月1日発行 第19号

発行／財団法人かながわ国際交流財団

〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 あーすぶらざ1F  
TEL : 045-896-2626(代表) FAX : 045-896-2945  
URL : <http://www.k-i-a.or.jp>  
E-mail : tabunka@k-i-a.or.jp  
印刷・DTP/JFEシーエス株式会社

## 広告を掲載しませんか？

県内で国際協力・国際交流の活動をしている市民グループをはじめ、図書館、公民館、バースポートセンター、県立高校、市町村国際担当部署、市町村教育委員会、市町村役所、県庁、財団会員などに配布しています。発行部数は7,000部です。お気軽にお問い合わせください。

## ●かながわ国際交流財団（略称KIF）は…

①県民の国際交流・協力活動の支援、②国際性豊かな人材の育成、③多文化共生の地域社会づくり、④学術・文化交流の促進、の4つの柱を中心とした事業を展開しています。

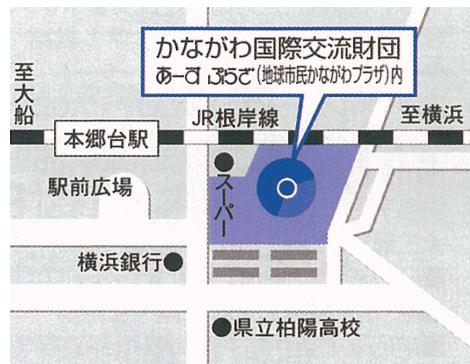
## ●KIFサポーターになりませんか？

財団の活動を支援してくださるKIFサポーター（賛助会員）を募集しています。会員になると…  
・財団が主催する各種催しを掲載した情報誌をお送りします。  
・当財団の出版物の割引サービスが受けられます。  
・会員の方を対象にした催しへ招待します。  
・会員証の提示で、提携エスニック・レストランの優待サービスが受けられます。

※会員登録を希望する方は、財団までお問い合わせください。振込用紙など関係資料をお送りします。

★当財団は、2006年4月より、神奈川県から指定管理者の指定を受け、あーすぶらざ（地球市民かながわプラザ）を運営しています。

★このほか、神奈川国際学生会館を運営しています。



## 編 集 後 記

みなさまは、4月からの新年度、いかがお過ごしでしょうか？

私たち、かながわ国際交流財団も模様替えしました。新たに多文化共生協働推進課が誕生し、このKIFニュースを担当することになりました。多文化共生の取組みに力を入れると同時に、NGO/NPOとの協働を進めていくための諸事業を展開していきます。私たちも神奈川の多文化共生の地域社会づくりに貢献できるようがんばっていきます。（す）